

道中雜錄

S68

二

NOV 2 1882  
A 613



1882



道中程来

長町を中回

乃ると塩田ま

よりと枝芝泥

よ榎木の古より

道法

長町ヨリ

三丁丁四丁

中田ヨリ

六丁丁七丁

増田ヨリ

一里二里三里

岩沼ヨリ

一里二里三里

榎木ヨリ

一里二里三里

船通しひい  
又人々大河  
原かきしぬ  
つ流とちき  
子金とね



舟迫ふねおそ

大河原おほがはら

金ヶセウかねがせう



一宮いちみや

白石しろいし

犀川さいがわ

一宮いちみや

宮みやつらきさ

と白石しろいしれ流なが

越こ犀川さいがわせれ

せ越こ河がわの冥みやう

ことせ馬うま士し

貝かい河がわときけ

せ越こ田のりまて

素す折をりもかろし

流ながのまよし

福ふく語ごを名なせ



敵河

十八丁

かい田

廿七丁

谷田

廿七丁



桑折

一丁

御の上

一丁

福嶋

一丁

子ねりな利招  
子町と若文  
なれせちく  
がたく屋せ  
湯さけ八丁此

同を二車柳  
池井立れも  
是をよまく  
二車松り松  
田家めいハ本



一 根子町

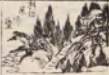
七丁

一 若宮

一里二丁

一 八丁

文姫女乃唄  
の音なき言余  
をふ深目を  
日和田と交  
む物語はき



一 二本柳

一里

一 二本松

一里十丁

一 杉田

一里七丁

乃如勢力福原  
くしをそ松山  
小栗田より婦  
くし酒先し  
日出処山姥



此河を  
流る河  
蓋石くきれ  
とすに  
久米石と

本宮

一里上丁

高倉

三丁

日和田

六丁

福原

六丁

郡山

八丁

小原田

日出山

六丁

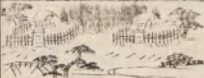
江安

とすに

久米石と

蓋石くきれ

とすに



一里 須賀川

一里 須賀川

一里 須賀川

一里 須賀川

一里 須賀川

一里 須賀川

一里 須賀川

一里 須賀川

一里 須賀川

一里 須賀川

一里 須賀川

一里 須賀川

川をたまた

わく振向と

白河をよほ

禰て山をほ

白飯や芦花

之くくを越

堀若志白く

禍掛てかん

まを歌さげ

大田系のみや



入道ははら  
は行舟



まきき絵のえ  
なぬ地山  
おり花きや  
唇れ黄蓮を  
赤き河氏家

ふまむヨリ  
二十十  
大田川ヨリ  
十五下

小田川ヨリ  
二十十下

白川ヨリ  
一里

あう校ヨリ  
一里下

蔵話ヨリ  
一里下

よし河教人  
乃あやうき  
白沃屋御免  
名河所を亭  
津のま権乃

本領寺  
後



鶴かけ

大田

作山

氏家

白沢

守部

寺

寺

あももあまのさ

あつちのうけ

見きく

小登井

くひく

草幸

小山

回

野

古



乳子此遊授  
 其下乃自  
 中回多望白  
 在望橋屋  
 幸手板戸と

一石松ヨリ  
 一里本  
 一小金井  
 一井の影  
 一里本  
 一山ヨリ  
 一里本  
 一山ヨリ  
 一里本  
 一山ヨリ  
 一里本  
 一山ヨリ

きゆを池泊  
 柏葉生きく  
 色かおす羨  
 うさくらう  
 小ころは海と

粟柄  
 二世  
 坊つて  
 二世  
 杉戸  
 一室中  
 物か倉り  
 一室中  
 裁谷  
 一室中  
 草賣り  
 一室中  
 千住  
 一室中  
 白木橋



流子越衣  
 多賀之千  
 江乃ちのひ  
 河さか  
 渡草川  
 思

小清の源

家塾庭訓程未手紙棠文  
 日用算法化道中歌性未  
 女小學操草體本鏡女大學  
 女今川教州玉手鏡女用  
 萬代百人一首万賢百人一首  
 棠托百人一首子供早熟一問  
 文化五子采新刻  
 伊勢屋米芝門

